

タブレットを活用した比較クイズづくりと学習評価 (SUNSHINE ENGLISH COURSE 2 PROGRAM 4 High Tech Nature)

- ①話・や
- ②個・表
- ②協・整
- ②評価
- ③タブ

【ここがポイント！】

①「Google ジャムボードを用いた言語表現についての気づきの創発」

Google ジャムボードを用いて形容詞・副詞の活用（比較級・最上級）について、活用ごとに整理分析する。グループでは、“I think this is in Group A.”などの表現を用いて協働しながら整理分析を行う。

②「Google スライドを用いた比較クイズ」

Google スライドを用いて、比較クイズをそれぞれが作成し、グループ内で出題して答えていく言語活動を行う。画像等を活用することによって、言語活動の際、未習の言葉でも推測しながら取り組むことができる。

【実践の目標】

比較表現を用いて比較クイズを作成し、応答することができる。

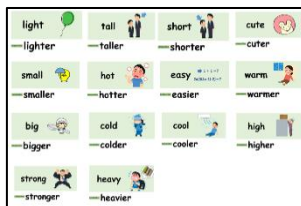
【実際の場面】

1. 形容詞・副詞の活用について整理分析する

Google ジャムボードを用いて形容詞・副詞の活用について整理分析を行った。グループでは、“I think this is in Group A”などの表現を用いて整理をし、Google ジャムボード上では、分類したものにラベリングする様子が見られた。

2. 比較クイズを通して表現を定着させる

指導者が作成した比較クイズを通して、比較表現を定着させるとともに、自分たちが作る比較クイズのイメージを持たせた。



3. Google スライドで比較クイズを作成する

てんびんのイラストを土台にしながら、クイズを作成した。

4. 発表の練習をする

ペアで比較クイズの発表練習を行った。クイズを行っていく上での言語表現を学習したり、クイズで用いる表現を吟味して修正したりした。

5. 比較クイズを出し合う

グループ内で比較クイズを出し合い、お互いに答えていった。ペアは事前に内容を把握しているため、比較クイズを出してやり取りしている様子を動画で撮影し、指導者に提出した。

6. 全体で交流

提出されたものの中からいくつか選定し、全体で比較クイズを行った。

7. 評価挿入

提出された動画をもとに、ループリックに照らし合わせて指導者が評価を行った。

【成果と課題】

【成果】

○Google ジャムボードを用いて画面上のカードを動かしながら活動を行うことで、活動が促進された。整理分析を行う場面で、表現を繰り返し用いることで活動に慣れ、自信を持って発話する様子が見られた。

○提出された動画をもとに評価することで、繰り返し見返すことができ、よりに評価を行うことができた。

【課題】

○比較クイズを作成する場面で、生徒の英語に触れる時間が少なくなってしまうなど。反転学習としてクイズを作らせてくるなど、状況によって授業内外それぞれで行う活動を精査する必要があると考える。

海田町立海田西中学校

